

復習シート 第二学年 国語



組
番号
名前

レベル6

【文脈に即して正しい漢字を選ぶ問題】

1 次の傍線部に入る漢字を使っている熟語を、あとのア～エの中からそれぞれ一つ選びなさい。

① 休日はモッパ^ラ読書をして過^ゴしている。

ア 一人だけでドクセンする。 イ 選手センセイをする。

ウ カンセンリヨクが強い。 エ センモンカに聞く。

② 父の意志をツぐ。

ア テレビのチュウケイを見る。 イ セツチャクザイを使う。

ウ 勇気を出してコクハクする。 エ ジカイを楽しみにする。

【故事成語の正しい使い方を選ぶ問題】

2 次の①、②の故事成語の使い方の例として、最も適切なものを、あとのア～ウの中からそれぞれ一つ選びなさい。

① 温故知新

レベル10

ア 先生から聞いた外国の話は大変興味深く、温故知新の体験となった。

イ 過去の歴史を学び、未来に生かそうとする温故知新の精神が大切だ。

ウ 温故知新を心がけているため、いつも新しい作家の本を読んでいる。

② 五里霧中

レベル10

ア レストランで何を注文するか悩み、五里霧中になってしまった。

イ 最初は綿密な計画を立てていたが、途中からは五里霧中の計画となっている。

ウ 入学当初は五里霧中の状態だったが、今では学校生活にすっかり慣れた。

【表現技法の効果を考える問題】

3 次の俳句に使われている表現技法の効果として、最も適切なものを、あとのア～ウの中から一つ選びなさい。

レベル10

・古池や 蛙飛こむ 水のおと

ア 普通の言い方と言葉の順序を入れ替えることで、情景や心情を強調している。

イ 文章や言葉を途中で止めることで、情景を読み手に自由に想像させている。

ウ 文末を体言（名詞）で結ぶことで、しみじみとした余韻を残している。

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

次は、交換留学生の歓迎会で行うことについての話合いの一部です。話合いの様子を読んで問題を解きなさい。

田中さん

これから、交換留学生の歓迎会で行うことについて、話合いを始めます。来月、オーストラリアから十人の中高生がさくら中学校に来ることになりました。歓迎会で何をしたらよいか、みなさんの考えを聞かせてください。何か意見のある人はいますか。

新井さん

私は部活動に協力を依頼し、日本の伝統を紹介するのがよいと思います。例えば、伝統文化部には、お茶やお琴について披露してもらい、柔道部や剣道部には、実演をしてもらうことを考えています。日本の伝統だけでなく、部活動の様子も知ってもらえると思います。

田中さん

ありがとうございます。続いて、坂田さんお願いします。

坂田さん

僕は、スポーツ交流を提案します。ドッジボールなどの簡単なルールのものをみんなで一緒にやることで、言語の違いに関係なく、楽しく交流できると考えます。

田中さん

では、今出た意見について、質問や意見はありますか。はい、佐藤さん。

佐藤さん

坂田さんに質問です。ドッジボールなどのスポーツでは、日本のことを理解してもらうことはできないと思います。日本の紹介はしないのですか。

坂田さん

はい。日本のことは調べればわかると 생각합니다。学生同士が触れ合える貴重な機会なので、A。その方が、留学生たちの記憶にも残ると 思います。

田中さん

他に質問や意見はありますか。

新井さん

みなさんの意見を聞いて考えたのですが、柔道部や剣道部に実演をしてもらった上で留学生にも一緒にやってもらおうというのはどうでしょうか。そうすることで、スポーツを通しての交流もできますし、日本の伝統についても知ってもらえると思います。

(1) 坂田さんの発言の に入る内容として、当てはまるものの番号を選びましょう。

レベル8

- ア チームで一丸となって戦うことで、スポーツの楽しさを知ってもらいたいと考えます。
- イ 日本の伝統的なものを体験してもらおうことで、よさに気付いてもらいたいと考えます。
- ウ 言葉を交わしたり、交流したりすることで、歓迎会を楽しんでもらいたいと考えます。
- エ 私たちが実演することで、現地でしかわからないことを感じてもらいたいと考えます。

(2) の新井さんの意見の述べ方として、当てはまるものの番号を選びましょう。

レベル6

- ア 他の人の意見を引用しながら、自分への反対意見について効果的に反論している。
- イ 他の人の意見を参考にしながら、自分の意見をもとにして新たな提案をしている。
- ウ 他の人の意見の問題点を指摘しながら、よりよい提案を導き出そうとしている。
- エ 他の人の意見を否定するだけでなく、自分の意見を柔軟に変えて発言している。



埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

母が病気で死ぬ二、三日前、台所で宙返りをして、へっつい角であばら骨を打って大いに痛かった。母がたいそう怒って、^①おまえのようなものの顔は見たくないと言うから、

親類へ泊まりに行っていた。すると、とうとう死んだという知らせが来た。そう早く死ぬとは思わなかった。そんな大病なら、もう少しおとなしくすればよかったと思って帰ってきた。そうしたら例の兄が、俺を親不孝だ、俺のために、おっさんが早く死んだんだと言った。悔しかったから、兄の横つらを張って、たいへんしかられた。

母が死んでからは、おやじと兄と三人で暮らしていた。おやじはなんにもせぬ男で、人の顔さえ見れば、きさまはだめだ、だめだと、口癖のように言っていた。何がだめなんだか、今にわからない。妙なおやじがあったもんだ。兄は実業家になるとか言って、しきりに英語を勉強していた。元来さっぱりしない性分で、ずるいから、仲がよくなかった。

② 十日に一遍ぐらいの割合でけんかをしていた。あるとき将棋を指したら、ひきょうな待ちごまをして、人が困ると、うれしそうに冷やかした。あんまり腹が立ったから、手にあつた飛車を眉間へたたきつけてやった。眉間が割れて少々血が出た。兄がおやじに言いつけた。おやじが俺を勘当すると言いだした。（夏目漱石「坊ちゃん」による。）

